

浜坂高男子卓球部 県総体へ

浜坂高（新温泉町吉屋）の男子卓球部が、5月上旬に豊岡市で行われた全但高校春季総体の団体戦で25年ぶりに優勝を飾った。久々の快挙達成を追い風に、姫路市である県高校総体（6月6～8日）に挑む。強豪ひしめく県総体の本番を見据え、部員たちは練習に励んでいる。

25年ぶりに全但制覇

大会には8チームが出場した。浜坂は2ブロックに分かれ、学校対抗の団体戦はダブルス1戦、シングルス4戦、決勝トーナメントに進出（3勝で勝利）で争われ、1回戦で香住、準決勝



全但高校春季総体の男子団体で優勝した浜坂高卓球部（提供）

初戦突破目指し練習に熱



県総体初戦突破を目指す練習に励む部員。新温泉町吉屋の浜坂高

で村岡を破って勝ち上がり、決勝で豊岡と対戦した。同校には予選で0-3とストレート負けを喫していたが、決勝では仲間の応援が後押し。ダブルス戦の勝利で弾みを付けると、シングルス勢も粘り強く戦い、3-2の接戦で制した。

チームの要は、春季総体優勝を呼び込む勝利を挙げた松岡偉大さん（16）と浜本七瀬さん（17）のダブルスペアだ。得意のバックハンドに加え、フォアを強化し急成長を遂げた2年の松岡さんを、強力なロングサーブでサーブエースを取るオールラウンダーの3年浜本さんが支える。

主将で3年の因幡蔵之介さん（17）は「正直勝てると思っていなかったが、決勝では声がかかるくらい応援した」と喜び、顧問の赤松駿一教諭（33）は「ダブルスが取れたらもしかしたらと思っていた。優勝は生徒の頑張りと振り返る。」

部員は男子18人、女子7人の計25人。中学時代からの顔見知りが多く、因幡主将は「皆が個性豊かで面白。くせは強いが、よく性格を知っている」と団結力の強さを誇る。

目標は初戦突破。「最後の大会。悔いの残らないように全力を出したい」と浜本さん。松岡さんは「ダブルスでは初の県大会。自分の強みのバックドライブで1回でも勝ちたい」と意気込む。